

# IGF 2023 に向けた国内 IGF 活動活発化チーム第 44 回会合 議事録

開催日時： 2024 年 1 月 22 日(月)17:01-18:37

開催場所： オンライン開催

主催： 一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会(JAIPA)  
一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)

参加者（五十音順・敬称略）

姓	名	所属	姓	名	所属
今井	正治	京都情報大学院大学	西潟	暢央	総務省
岩井	努	有限会社メディアロジック	野村	美佐子	特定非営利活動法人支援技術開発機構
加藤	幹之	MK Next	Honda	Sei	個人
河内	淳子	一般財団法人国際経済連携推進センター(CFIEC)	前村	昌紀	JPNIC
木村	孝	JAIPA	松平	直樹	フリーランス
立石	聡明	JAIPA	望月	俊晴	総務省
			山崎	信	JPNIC

参加者数： 13 名

司会進行： 加藤 幹之

議事録作成： 山崎 信

資料：

1. 2024 年第 2 回 IGF MAG リモート会議報告
2. IGF 2023 報告会振り返り
3. 日本インターネット・ガバナンス協議会（仮称）たたき台

アジェンダ：

1. 本日の打合せの目的確認
  - 日本政府からの報告
  - IGF マルチステークホルダー諮問グループ(MAG)からの報告

- IGF 2023 報告会の振り返り
- 本チームの今後について

## 2. 前回議論の振り返り

- 第 43 回会合の概要：第 43 回アジェンダ案+議事録案

## 3. 宿題の進捗確認

IGF 2023 に向けた国内 IGF 活動活発化チーム todo 一覧表を参照のこと

## 4. 日本政府からの報告 [10 分]

- 総務省からは、特に報告する内容は無いとのことでスキップされた。

## 5. IGF MAG からの報告 [10 分]

- 河内氏より、1 月 16 日に MAG リモート会合が開催された旨、およびその内容の詳細について資料 1. 2024 年第 2 回 IGF MAG リモート会議報告が共有され報告された。
- IGF 2024 の日程は 2024 年 12 月 15 日から 19 日までとなり、Day 0 も対面開催されることになった。
- リーダーシップパネル議長より、Internet We Want(IWW)について課題について意見募集を行う(3/1 まで)旨アナウンスがあった。IGF 2024 で IWW の最終ドラフトを披露したいとのこと。
- MAG Working Group が 3 つ提案された
- Policy Network と Best Practice Forum を
- 次回会合は 2 月 6 日の予定
- 活発化チームもしくは後継組織はどこに手を挙げた方がよいのか？
  - 今まであまりやって来なかったが、後継組織では意見提出などもやっていきたい

## 6. NRI に関する報告 [5 分]

- 山崎より、1/15 に 2024 年第 1 回 NRI 会合が開催された旨報告した。
- 議題：
  - 初参加者の自己紹介
  - MAG 議長(Carol Roach 氏)からの挨拶と MAG・NRI 間の協力改善方法について
  - NRIs の 2024 年の作業計画と次の段階（時間切れで NRI コーディネーターメーリングリストにて行うこととなった）
- 会合中およびその後 ML で紹介された意見募集
  - [IGF 2024 テーマなどに関する意見募集\(1/31 締切\)](#)
  - [WSIS+20 評価プロセスに関する意見募集\(2/29 締切\)：開発のための科学技術委員会\(CSTD\)より](#)
  - [Internet We Want 意見募集\(3/1 締切\)：Leadership Panel より](#)

## 7. IGF 2023 報告会の振り返り [15 分]

- 山崎より、資料 2. IGF 2023 報告会振り返りを使って参加者数およびアンケート集計結果を報告

した。

- 最初の円グラフの色分けが分かりにくい、との指摘があった。吹き出しなどで対応する。

## 8. 本チームの今後[30 分]

- 前回第 43 回会合での内容
  - 何人かから意見をいただき具体案を作成中
    - 誰でも自由に発言でき内容は公開
    - 法人化に必要な仕組みを作る
    - それらをマルチステークホルダーで維持できるようにする
  - 1 月の活発化チーム会議では案を出せる予定
- 加藤氏より、資料 3.日本インターネット・ガバナンス協議会（仮称）たたき台を使って説明された。この内容をこの場で承認していただきたいという訳ではなく、全体的な方向性へ賛同が得られればと思っている。
- 前村) JPNIC 内では全体的には大賛成、前向きに考えたい。細部については意見が出ている。
- 加藤) 日本 IGF タスクフォース構成団体には大筋で了承いただいていると理解している
- 立石) JAIPA としては基本的に全面的に協力したい
- 参加者) NPO 法人などではなく一般社団法人という形態を選んだ理由は？
  - まずは後援や寄付などの制約がないよう、主体性を持つために法人化する必要があると考える。
  - 一般財団法人は基金がありそれを運営するもので、（設立しようとしている法人は）それには当てはまらない。
  - 発起人が社員となって一般社団法人となることを想定している
  - 非営利型一般社団法人または一般財団法人となるには細かい要件がありハードルが高い。
  - 参加者が意見や情報交換をしながら意見を合成することになるので、イシューに対して直接アクションを起こすというのとは違うため、NPO 法人（特定非営利活動法人）には当てはまらないのではないか。
- たたき台承認後も、今後弁護士と相談して内容の細部は法的な問題により変更となる可能性があるため、そのための柔軟性は残しておきたいが、基本的な 8 項目は変わらない。
- 次の段階はどうなるか？ next step リストもしくは todo リストがほしい、次のボトルネックがどこかなどを考えていく必要がある。まずは活発化チーム内でのコメント募集か。
  - 3 月末に定款を完成させたい
- 総務省は次にどこに関われるのか
  - 準備委員会の委員、もしくはオブザーバーとして関わっていただきたい
  - 準備委員会は週一程度のペースで進めたい

## 9. 本日の議論を受けた Todo 確認 [5 分]

- 資料 3.日本インターネット・ガバナンス協議会（仮称）たたき台に対しコメント募集 7 日間、ラストコール期間 7 日間を設ける。
- next step リストもしくは todo リストを作成する

- 準備委員会メンバーに手を挙げていただきたい
- 発起人については自薦・他薦いただきたい（準備委員会にお伝えいただきたい）
- 弁護士、会計士、Web 作成等について意見があればコメントいただきたい

#### 10. 次回打合せについて[5 分]

- 次回アジェンダ（たたき台）
  - 国内 IGF 活動の今後について
- 次回打合せの開催時期
  - 本日から 4 週間後は 2 月 19 日(月)となるため、この日としたい（12 日は振替休日）。→2 月 19 日で異論なし

#### 10. その他

- なし

以上